

肥前安国寺コース

安国寺は、延元元年・建武3年(1336)から興国6年・貞和元年(1345)にかけて、夢想国師の勧めにより足利尊氏・直義兄弟が後醍醐天皇以下南朝方戦死者の冥福を祈り、全国の国ごとに一寺と一塔(利生塔)を建てています。

肥前国では、神埼郡朝日にあった朝日山大光寺を安国寺と改称し勅額と広大な寺領を賜っています。

朝日山大光寺の創建年代は定かではありませんが、元弘元年・元徳3年(1331)に死去した高僧巧安の開山と伝えられています。往時は、三十四世に至る繁栄を見せていましたが、その後衰え、江戸時代に即非の高弟である翠峰により中興されて黄檗宗となり、二十四末寺を数えています。

境内には安国寺の往時を知ることのできる多数の石造物が残されています。特に、西の谷には、即非の髻舍利塔や翠峰の墓をはじめ歴代僧の墓石が残されています。また、東の尾根には少式資元の供養五輪塔が建立されています。

起点 水車の里遊学館～ **終点** 水車の里遊学館
行程 約3.0km

水車の里遊学館

▽遊学館より西へ左折し、城原川を渡り堤防を南へ。

右手の森が白角折神社です。

①白角折神社 ②白角折神社のクスノキ

▽神社より右折し、西へ約200mで車道へ。

車道を左折し南へ約300mで安国寺入口です。

③安国寺境内碑

▽ヤクルト工場の南を右折し、北へ延びる

一本道を約300mで安国寺へ

④肥前安国寺 ⑤地蔵菩薩坐像塔

⑥弥勒菩薩像塔 ⑦石灯籠

⑧十万遍供養塔

▽本堂前より西の森に延びる道路を約200mほどで安国寺墓所へ。最奥部に即非髻舍利塔があります。

⑨即非髻舍利塔

▽来た道を約50mほど戻り、左手高台へ。

⑩翠峰禅師の墓 ⑪～⑮歴代住職の墓

▽東へ戻り本堂前を通過し、本堂東の地蔵堂へ。地蔵堂より東へ約100mほど。

⑯少式資元五輪塔 ⑰供養五輪塔

▽安国寺参道を戻り、ヤクルト工場より市道を北上(左折し)水車の里遊学館へ。

水車の里遊学館



おしとりじんじゃ ①白角折神社

貞観15年(873)に従五位下を叙せられ、日本武尊を祭神とする古社です。白角折の名称は、日本武尊が熊襲征伐のときに当地からの向かって矢を射たという伝説から幣作りのおしとり部に関係すると考えられています。

おしとりじんじゃ ②白角折神社のクスノキ

樹齢約1000年と言われ幹回り14m・樹高約20mの巨木です。大きく根上がりし、地上約4mの高さで主幹が二分しています。樹勢は旺盛で、白角折神社千年の歴史を見続けています。

ひぜんあんこくじ ④肥前安国寺

足利尊氏・直義により戦没者の菩提を弔うために全国に設けられた寺です。肥前国では、当地の大光寺を安国寺と定めました。境内には、即非の遺髪塔や翠峰の墓石や少式資元供養塔などが残されています。

そくひぜんしゃりとう ⑨即非髻舍利塔

西の谷奥に造立された即非の髻舍利塔で、延宝5年(1677)に翠峰により造立されています。石畳敷きで、塔の周囲は石垣が築かれ、非常に豪壮に作られています。即非は、江戸時代前期に中国から渡来した臨済宗黄檗派の僧です。

すいほうぜんじ ⑩翠峰禅師の墓

延宝5年(1677)に造立された翠峰禅師の墓塔です。山腹を整地し石垣を持つ特徴的な墓塔です。翠峰は、即非の高弟で、安国寺を中興し黄檗宗とした僧で、盛期には24末寺を数えるまでに隆盛しました。



あんこくじけいだいひ ③安国寺境内碑

「安国寺境内」と彫られた境内碑で、安政2年(1855)に建てられています。この碑より西へ参道を登ると安国寺に至ります。



⑧十万遍供養塔

「盡十万徧法界六衛■魂■細■霊塔」と銘文が彫られ、元文1年(1736)に建立されています。



⑭安国寺歴代僧の墓

安国寺「第七代鏡堂寛圓和尚」の墓碑です。



じぞうぼさつざそうとう ⑤地蔵菩薩坐像塔

境内に建立された地蔵菩薩像塔で、前面に延宝5年(1677)「廣壽開山老和尚塔前 弟子西代道 百拝立」と銘文が彫られた灯籠が建っています。



⑪安国寺歴代僧の墓

安国寺第三世の「天宗寛實先大和尚」の墓で、正徳4年(1714)のに建立されています。



⑮安国寺歴代僧の墓

「安国寺第八代の■岳際安和尚で、明和3年(1766)の年号が記された墓塔です。弟子の玄翺により造立されています。



みろくぼさつざそうとう ⑥弥勒菩薩像塔

本堂前に建立されている弥勒菩薩坐像で、宝冠を被り足上で両手で宝塔を掲げています。年号がないため造立年代は不明です。



⑫安国寺歴代僧の墓

安国寺六世の「冠峯鱗和尚」の墓で、享保19年(1734)に小子玄海により造立されています。



⑯少式資元供養五輪塔

地輪に「■前太宰都督心月本了■」とあり、天文7年(1538)戊戌年十月八日の年号が彫られています。



⑦石灯籠

廣壽開山老和尚塔前に弟子の西代道により延宝5年(1677)に建立された石灯籠です。



⑬安国寺歴代僧の墓

宝暦8年(1758)の銘がある安国寺「圓寂大幸際延禅師」の墓塔です。



⑰供養五輪塔

慶長19年(1614)の年号があり、「一九禅門居士」と彫られた五輪塔です。